

# 令和4年度 NPO法人 まつぼっくり 事業報告

## I. 各事業別報告

令和4年度も、新型コロナウイルス感染防止対策など「今できること」を利用者・職員が一丸となって取り組んできました。また、「にじいろカフェ」などの新規事業にも行政や地域企業、ボランティアの皆さんのご支援とご協力を頂き各事業の目標の達成に向けて取り組んできました。

### 1. 就労支援事業の取り組み

#### 1.1 就労支援利用者動向

##### (1) 事業種別利用人員

(R5/4/1現在 単位：人)

事業種別	定員	R4/4	退所/変更	入所/変更	R5/4	増減	備考
移行支援	10	11	4	3	10	▲1	R5年8月以降2名が移行⇒B型に変更 特別支援学校新卒者3名入所（移行） 一般2名入所（地域活動）
継続支援B型	30	29	1	2	30	1	
地域活動支援	10	3	1	3	5	2	
計	50	43	6	8	45	2	

##### (2) 利用人員内訳

(R5/4/1現在 単位：人)

＜障害種別＞				＜事業種別＞				備考
障害種別	男	女	計	事業種別	男	女	計	
知的	24	8	32	移行支援	6	4	10	60才以上の利用者数 ：7名
身体	2	3	5	継続支援	22	8	30	
精神	4	4	8	地域活動	2	3	5	
計	30	15	45	計	30	15	45	

#### 1.2 就労支援事業収益

- (1) 就労支援作業所の売上高 11,201千円(対予算比 85.9%)
- (2) にじいろカフェ(昼食弁当収益含む) 6,383千円(対予算比 88.7%)
- (3) 対予算未達要因

- a. 喫茶「夢空間」休業(コロナ感染予防対策、絆の天井改修工事)
- b. 大型スポット受注の除草作業休止 等

##### ＜事業別売上実績内訳表＞

(単位：千円)

事業名	期別売上				年合計	月平均	対前年比実績比(%)	
	第一期	第二期	第三期	第四期				
内訳	喫茶	118.5	23.0	0.0	97.7	239.2	20.0	34
	自主生産品	132.8	187.9	656.2	243.1	1,220.0	102.0	166
	施設外	1,530.4	1,501.9	1,514.0	1,436.6	5,982.9	499.0	92
	受託品	1,205.8	648.8	453.8	975.9	3,284.3	274.0	104
	委託	114.9	114.9	114.9	114.9	459.6	38.0	100
	にじいろカフェ	1,296.2	1,546.4	1,689.0	1,851.8	6,383.4	532.0	0

#### 1.3 利用所工賃

令和4年度は、工賃向上3カ年計画2年目であり目標達成に向けて利用者・職員が一丸となって取り組みましたが、目標額を下回る結果となりました。未達要因としては、利用者人員増見合いの売上高・作業量の確保が出来なかったことにあります。

茨城県及び当事業所の工賃向上3ヵ年計画及び実績は下記の通りです。

＜工賃向上3ヵ年計画及び実績取り纏め表＞

(単位：円/人・月)

	区 分		前期計画	今次3ヵ年計画			備 考
			R2	R3	R4	R5	
茨城県	B型月額	工賃向上計画	14,910	15,480	16,310	17,140	・全国平均工賃(R2年度) 16,507円
		// 実績	14,350	15,201	-	-	
	平均工賃	達成率(%)	96.2	98.2	-	-	・茨城平均工賃(H30～R3) コロナ禍の為、目標下回る
		対前年比(%)	100.0	105.9	-	-	
まつぼ っくり	B型月額	工賃向上計画	/	/	28000	29000	<主な取り組み> 「絆」清掃継続、総合科学研 究機構再開。高単価作業継続 紙業品単価UP及び販売数増 にじいろカフェランチ数倍増
		// (見直し後)	27,100	27,000	25,100	25,200	
	平均工賃	// 実績	25,133	25,001	24,243	-	
		達成率(%)	92.7	92.6	96.6	-	
		対前年比(%)	93.2	99.5	96.7	-	
		利用者延人員(人)	342	352	351	-	
		B型時間額平均工賃	203	206	204	-	

1.4 就労移行支援事業

(1) 一般就労移行者推移

(R5/4/1現在 単位：人)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	計	備 考
移行	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	1	0	0	2	8	R4年度一般 就労先職種  清掃1名 飲食1名
継続	1	1	0	2	3	0	0	1	2	0	3	0	0	0	13	
計	1	1	0	4	3	1	0	3	2	0	4	0	0	2	21	
< 特記事項 > ●職場定着率 67% (H21～ 5名退職 内 H30年1名退職、R1年1名退職) ●就職先業種別内訳 ◆ 製造業 3名 ◆ 物流業 4名 ◆ サービス業 14名																

(2) 一般就労移行への取り組み

a. 一般就労先職種及び取り組み内容

① 清掃業務 1名

施設外就労にて清掃訓練を実施、障害者合同面接会に清掃業務を希望し参加、職場実習の実施

② 飲食業務 1名

調理師免許所持、「にじいろカフェ」厨房で調理業務に従事、精神状態の安定や体力の向上によりホテルの調理員として就労

b. 具体的な取り組み

① 「就労ハンドブック」を活用して労働習慣や社会的マナーの習得訓練、技能・技術の習熟訓練を実施、履歴書記入・面接対策訓練実施

② 本人の希望に基づく個別支援計画書・支援内容の見直し実施

③ 「にじいろカフェ」における接客、調理補助、洗浄業務に従事、PC操作、レジ打ちなどの金銭管理習熟訓練を実施

④ 清掃作業や農業など本人の特性や適性を見極めた作業訓練を実施

1.5 就労定着支援事業

(1) 既一般就労者4名及びご家族に対面及び電話支援を実施

(2) 企業側担当者に支援内容のフィードバックや連絡・調整実施

(3) 必要に応じた支援期間終了後のフォローアップ

## 1.6 就労継続支援B型事業

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染対策を徹底しながら各作業に取り組みました。また、品質の向上や納期遵守を徹底することでお客様から信頼を得て、受注単価や売価の引上げ受注量や販売数の増加に繋がりました。

- (1) 喫茶「夢空間」事業(売上高 対前年実績比 34%)
  - a. 新型コロナウイルス感染症の影響で時短営業やテイクアウト限定販売を実施
  - b. 「絆」天井改修工事期間（R4年7月～11月）休業
- (2) 自主生産品事業(売上高 対前年実績比 166%)
  - a. 主な活動
    - ① カレンダーや名刺等の紙業品の販売価格アップ及び販売数増加
    - ② 口コミによるチラシ作成依頼など新規案件の増加
    - ③ 一般紙を使用した新商品開発・販売などニーズにあった対応
    - ④ 手漉き再生紙の保管場所の工夫などによる品質向上や検品作業の簡略化
    - ⑤ 作業改善により利用者・職員の生産性向上
    - ⑥ 井戸水の使用やパルプ作りの生産性向上による経費削減
    - ⑦ 年間を通じた生産時期や作業量の平準化を図り、繁忙期の新規受注にも柔軟に対応
  - b. 主な課題等
    - ① 新規印刷機の導入検討（費用対効果分析及び導入時の助成金調査・申請）
    - ② 印刷事業の業容見直し検討
    - ③ 紙業品以外の自主生産商品の検討（野菜加工、縫製品の商品化等）

生産品目内訳	主な大口顧客 (敬称略)
名刺、ポストカード、ショップカード、はがき カレンダー、コースター、一筆せん、レターセット ポチ袋、縫製品他	・(株)鈴木ハーブ研究所 ・(株)大曽根建設 ・東海村役場 ・(株)ARC ・(株)大曽根建設 ・ねもと薬局 等

- (3) 施設外就労支援事業(売上高 対前年実績比 92%)
  - a. 主な活動
    - ① 各施設外就労先の請負継続実施
    - ② 総合科学研究機構中性子科学センター様のオフィス内清掃の再開
    - ③ 清掃請負単価アップ（魚康様店舗・ビジネスホテル清掃、J-PARC様オフィス清掃）
  - b. 主な課題等
    - ① 大型スポットの除草作業の受注休止（年2回 日本原子力研究開発機構様）
    - ② 「絆」天井改修工事に伴う清掃請負エリアの減少による売上減
    - ③ 掃除機等清掃用具の安全・安心な正しい使い方の再徹底

### 施設外就労請負作業の内訳

(敬称略)

就労請負作業内容	就労先会社・団体				就 労 日 時	従 事 者	
	(有)魚康	(社)社協	原子力機構	総合科学		利用者	職 員
①飲食店舗内清掃作業	○				4日/週 9:30～11:00	2名	1名
②盛り付け補助作業	○				4日/週 9:30～11:00	1名	
③ホテル内清掃作業	○				5日/週 13:10～15:00	3名	1名
④「絆」建屋内外東側清掃		○			6日/週 8:30～15:30	5名	2名
⑤J-PARCユーザーズオフィス清掃			○		3日/週 13:00～15:00	3名	1名
⑥日本原子力機構社宅除草作業			○		2回/年 各10日間	5名	2名
⑦オフィス内清掃				○	3日/週 13:00～15:00	3名	1名

(4) 受注品生産事業(売上高 対前年実績比 104%)

a. 主な活動

- ① 高単価作業の優先依頼及び信頼関係を構築した請負継続
- ② 一部作業における単価UPや消費税を外税としての請求交渉
- ③ 既存備品や寄付備品活用等による経費削減
- ④ カフェ入口前での野菜販売の継続実施

b. 主な課題等

- ① 作業及び品質確認、治具等の改善・開発による生産性の向上
- ② 新型コロナウイルス感染対策を重点とした作業環境の改善を特進
- ③ 利用者の特性や技能・技術を活かした作業指示による生産意欲の向上
- ④ シーラー等作業用器具の安全・安心な正しい使い方の再徹底

主な取引企業一覧

(敬称 略)

No	主な取引先企業名	作業内容
1	(株)セイエーデンキ (4店舗)	チラシ袋詰め カレンダー袋詰め 他
2	中央労働金庫(水戸、勝田、日立 水戸南、大みか各支店)	チラシ袋詰め、カレンダー袋詰め 他
3	(株)こうじや	アサガオ支柱組立、家庭用園芸用品の箱詰め、肥料袋詰め他
4	(株)新日本工芸	神具組み立て
5	(株)鈴木ハーブ研究所	チラシ袋詰め(6000枚/月)、カレンダー他
6	レオスマーケット	収穫野菜の袋詰め・販売
7	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	社宅緑地整備、 J-PARCユーザーオフィス清掃及び自転車点検
8	総合科学研究開発機構 中性子科学センター	オフィス内掃除機掛け、ゴミ回収

(5) 委託事業(委託料 対前年実績比 100%)

a. 主な活動

- ① 東海村総合支援センター「なごみ」内委託清掃作業の継続実施
- ② 利用者特性を見極めた配置

b. 課題等

- ① 令和6年度以降の実施有無の確認
- ② 就労移行向けの訓練実施場所としての利用者配置

(6) にじいろカフェ事業(対前年実績比 306% 12月～3月)

週替わりランチの継続と令和4年10月より月替わりデザートを新たに販売し、客単価アップを図りました。また、リピーター様や団体のお客様が増え、地域住民の交流の場としての機能も充実してきました。

a. 主な活動

- ① オープン当初1日15食の調理能力を30食～40食の食数対応増を実現
- ② 利用者昼食「にじいろ弁当」を週3日で提供
- ③ 物価高騰により、ランチ・デザート等の価格を適正に値上げ実施
- ④ ランチタイム時に提供可能な月替わりデザート販売の開始
- ⑤ 新聞や広報誌の取材、SNSによるメニュー情報等の発信

b. 主な課題

- ① カフェ営業とにじいろ弁当提供の重複曜日における調理担当者の負担軽減
- ② 調理人員不足等による顧客の取りこぼし

- ③ 新型コロナウイルス感染症防止対策と解除に向けた対応
- ④ 賄い・接客等従事利用者の支援内容、体制の見直し
- ⑤ レギュラーメニュー、調理工程、賄い・接客の配置人員等の見直し

## 2. 東海村指定特定相談支援事業の取り組み

令和4年4月より相談支援員1名増。2名体制で実施。各種研修会や部会へ出席し、地域課題の課題の把握や支援困難ケースの対応方法等の知見を広げることができました。また、関係事業所と連携を図り、相談者の課題解決に尽力しました。

### (1) 主な活動

- a. 相談支援員1名増の2名体制となり、相談件数増加を実現
- b. 相談支援部会、ケアマネージャー研修会等への参加による地域課題の把握

### (2) 主な課題

- a. 相談支援員の兼務体制の緩和
- b. 相談依頼、支援件数増に伴う相談従事時間の増加
- c. 相談支援員の担当計画相談件数の見直し

●新規サービス利用計画書作成	4 件(前年実績比 200%)	●内他市町村事業所の
●モニタリング	138 件( // 172%)	依頼件数 30 件

## 3. グループホーム事業の取り組み

令和4年4月より第二期建設工事のグループホーム着工し、備品等の納期遅延がありましたが、概ね計画通りの日程で令和4年9月1日に竣工致しました。

令和5年12月1日に事業指定を受け、R5年1月24日に開所の運びとなりました。

### (1) グループホーム整備概要

- a. 建設地 東海村須和間1302-10
- b. 構造 準耐火木造 延床面積208.68㎡

### (2) グループホーム整備事業

開所⇒令和5年1月24日 職員確保難航の為、3ヵ月遅れで開所

- a. 共同生活援助 7部屋
- b. 短期入所 3部屋

### (3) グループホーム事業利用人員

#### a. 事業種別利用人員内訳

(R5/4/1現在 単位：人)

事業種別	定員	R5/1	R5/2	R5/3	R5/4	契約数	備考
共同生活援助	7	1	2	2	2	2	R5.1.24開所
短期入所	3	0	2	3	2	4	
計	10	1	4	5	4	6	

#### b. グループホーム利用区分別人員内訳

(R5/4/1現在 単位：人)

〈障害種別〉		〈利用区分〉				備考
障害種別	男	区分	利用人員	区分	利用人員	
知的	4	区分1	2	区分4	2	共同生活援助：2名(区分1×2名) うち1名区分変更申請中 短期入所：4名(区分2×1名、区分3×1名、 区分4×2名)
身体	0	区分2	1	区分5	0	
精神	2	区分3	1	区分6	0	
計	6	計	4	計	2	

#### 4. 地域活動支援センター事業の取り組み

##### (1) 社会生活自立援助事業

新型コロナウイルス感染症の状況を把握し、利用者の皆さんがより充実した生活や楽しみを享受できるような各種イベントを実施しました。特に外部イベント参加やお楽しみ青空昼食会などを企画し、利用者・職員の皆さんの心のリフレッシュを図りました。

①絵画教室	◆キミコ方式の絵画指導(指導者 1名) 利用者 25名参加 (各回5名程度) 緊急事態宣言等新型コロナウイルス感染状況を見て感染対策実施し開催 ◆参加者の絵をカレンダーや一筆せん等への挿絵に採用販売 利用者の絵画を編集したハーブイラストカレンダーが茨城県デザイン賞を受賞 ◆東海村文化祭絵画展出展(11/3~11/6) 東海村総合体育館 出店時施設や作業内容紹介の一環として紙業品製作体験ワークショップを開催
②音楽教室	◆音楽指導(指導者 3名) 利用者 23名(希望者) 地域交流室等で月1回練習実施(トーンチャイム、ハンドベル演奏等)
③お楽しみ会	◆青空昼食会(天候不良の為、カフェ内で食事会) 年末の集い(カフェ内でお菓子等会食)
④健康維持管理の実施	◆体重・血圧測定(月1回) : 利用者全員対象、運動の奨励、摂食の改善指導 ◆服薬の励行指導(随時) ◆排尿・排便介助(随時) ◆手洗い・マスク着用指導 ◆家庭及び施設出入り口での検温・手消毒の励行 特に検温は朝と昼の2回実施し早期対応が可能になるように実施
⑤野外イベント・外出訓練の実施	◆とうかい環境フェスタ(11/12) 東海村役場 紙漉き体験実施 ◆I~MOのまつり(11/23) 東海文化センター コーヒーや紙業品販売

##### (2) その他の地域活動

- a. 茨城新聞社や日本経済新聞社から取材を受け、施設紹介の記事や広告が掲載されました
- b. 近隣小学校からの「こどもを守る110番の家」として依頼を受け継続実施

## Ⅱ. その他施策の実施報告

### 1. 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底継続

利用者及び職員、そのご家族の感染状況を把握しながら皆が協力し感染症の猛威を乗り切りました。また県が発出するマニュアルの再徹底を図り、感染防止に努めました。

- (1) コロナ禍であり下記の遵守事項を最優先に行動しました。
  - a. 村外利用者への送迎対応や入室時の検温実施
  - b. 昼食前の検温、手や使用備品等の消毒の徹底
  - c. マスク着用や手洗い・うがい等の基本的な感染対策の励行
  - d. 作業所内での換気、3密の遵守
  - e. 昼食時のパーティションの設置や黙食を徹底
- (2) 施設内の24時間換気や吸気口のオープン、天井ファン使用など施設内設備をフル活用し効果的な換気対策を実施しました。
- (3) 県から発出された感染対策等の通知内容やワクチン接種の周知徹底を図りました。
- (4) 県内感染拡大時、県からの指示により職員を対象とした抗原検査を実施しました。
- (5) 感染対策・対応についてフローチャートを作成し周知しました。

## 2. 健全な経営基盤・支援体制拡充への取り組み

### (1) 指定障害福祉サービス事業者等の拡充

- a. 村外利用者の自力通所再開と東海駅～作業所間の送迎実施
- b. 送迎対応として、送迎用公用車を1台リース契約
- c. 公用車運行の安心・安全対策のため全車両(5台)にドライブレコーダーを装着
- d. 「にじいろカフェ」の業容拡大に伴う利用者の就業機会の提供

### (2) 職員の処遇・環境改善及び人材育成の特進による質的向上

- a. 支援業務に即した職員の昼休憩時間の分散取得を実施
- b. 「にじいろカフェ」拡充やグループホームの開所に伴い職員採用

#### 従事職員内訳

(R5/4/1現在 単位：人)

	R4/4	R5/4	増減	備考	
常勤役員	1	1	0	・常勤職員：グループホーム開所に伴い2名採用 ・非常勤職員：調理スタッフ2名、グループホーム世話人1名、退職に伴い生活支援員2名採用。	
常勤職員	12	13	1		
非常勤職員	8	10	2		
計	21	24	3		
<b>＜ 特記事項 ＞</b> 職員配置 (有資格者、研修修了者等 重複表記)					
●管理者	1名	●サービス管理責任者	4名	●障害児者相談支援専門員	3名
●就労支援員	5名	●社会福祉士	2名	●社会福祉主事	4名
●ジョブコーチ	1名	●強度行動障害支援者	1名	●食品衛生責任者実務者	2名
●看護師	1名	●障がい者スポーツ指導員	1名	●精神障がい者支援者	1名
●管理栄養士	1名	●介護福祉士	2名	●発達障がい者支援者	1名
●栄養士	1名	●その他 :ボランティア	延159名(調理、絵画教室、音楽教室、作業、農業指導等)		

- c. 福祉・介護職員処遇改善加算の実績報告及び再申請による給与所得の改善
- d. 夏・冬一時金支給の継続実施
- e. 障害者総合支援法や障害者虐待防止法等社会福祉事業関係法令の周知
- f. 財務管理、人事管理、労務管理、給与管理、法定福利等に関する知識の修得と「職員心得」マニュアルの周知徹底
- g. 積極的な先進事業所等の視察や研修会参加等によるリーダー・支援者意識の高揚

	研修・見学・訪問・講座等の内容	参加者数	日程
行政見学・訪問	茨城県庁ステップアップオフィス見学	2名	随時
企業見学・訪問	①(株)日立ゆうあんどあい	2名	随時
	②茨城トヨペット(株)水戸千波店	2名	随時
施設見学・訪問	①就労継続支援A型事業所self-A ころと大みか	2名	随時
	②グループホームつりがね草	1名	随時
	③NPO法人かりんの輪 グループホーム及び作業所	1名	随時
研修等	①管理者研修	1名	5/24
	②サービス管理者初任者研修(オンライン含む)	2名	7/5,7/12,13 10/17,12/7
	③サービス管理者更新研修(オンライン含む)	1名	7/14
	④東海村障がい者虐待防止研修	2名	7/19
	⑤就業支援基礎研修	2名	7/20~22 10/19~21
	⑥カフェ用スマートレジ導入研修(オンライン)	2名	8/8
	⑦高次脳機能障害者支援従事研修(オンライン)	1名	9/12
	⑧就労移行支援研修(オンライン)	1名	12/14 3/23

	研修・見学・訪問・講座等の内容	参加者数	日 程
研修等	⑨年金セミナー健康管理講座	1名	2/6
	⑩施設管理・代表者研修（オンライン）	1名	2/17
	⑪東海村社会福祉協議会地域共生社会研修	1名	3/6

h. 定例職員会議及びケース会議開催による情報の共有化と支援策の見解統一及び周知徹底

職員会議	①当月内の課題と対応策及び次月活動予定審議等 ②勉強会実施 ・グループホームの施設整備事業計画 ・売上・工賃向上施策等 ・職制及び担当業務 等	1回/月 新型コロナウイルス感染症状況で書面開催実施
ケース会議	①サービス利用計画書、個別支援計画の支援目標、達成状況、評価 ②評価やモニタリングによる支援策の再検討、支援目標・内容確認 ③職員持ち回りによる議題から勉強会の実施	同上及び朝礼等で実施

(3) 事業経営の体質強化

- a. 予算規模の増大に伴う収支・財務管理の多様化に対応した事務管理業務の適正化の促進
- b. 新会計システムの導入
- c. 税理士との会計業務委託契約締結(綿引昭光税理士事務所)財務管理業務の充実
- d. 事業収支・資金繰り5か年計画に沿った予算実算管理の徹底
- e. 各種助成金・補助金の申請により歳出予算の抑制

No.	助成・補助団体	内 容	金 額(円)	備 考
1	東海村	新型コロナウイルス感染予防対策支援補助金	200,000	
2	ハローワーク水戸	特定求職者雇用開発助成金	300,000	
3	東海村	東海村物価高騰対策支援金	200,000	

f. 理事・監事会及の開催

四半期毎、その他必要に応じて開催し、各種事業の進捗状況、収支決算状況、職場環境改善、資金計画等について議論、確認を行いました。

g. 法人会員加入状況

正会員の増加により経営・運営基盤の安定化を図ることができました。 (単位：人)

	R4/4	退会	入会	R5/4	増減	備 考
正会員	71	0	7	74	3	一般会員の加入促進が課題
賛助会員	19	0	0	25	6	
計	90	0	7	99	9	

(4) その他施策の推進

a. 家族会の開催

コロナ禍であり、状況を確認しながら開催し、保護者間の情報交換や親睦を深めました。また、事業所からの情報伝達や家族会からの意見・要望等を拝聴し課題の早期解決に努めました。

b. 事業所体験実習及び見学希望者の受入

感染対策に十分配慮しながら受入を積極的に行ってきました。また、勝田特別支援学校高等部1年生全員(生徒19名、教員10名)を対象に郊外学習時の見学希望者を受入れました。



(単位：人)

学 校 名 等	見学者数 (生徒+保護者等)	実習者数 計	学年別実習内訳(延人数)			一般実習	備 考
			1年	2年	3年	その他	
勝田特別支援学校高等部	32	17	7	4	6	－	
水戸・日立・太田・茨大付属特別支援学校	16	4	3	0	1	－	
県立盲学校	2	1	0	0	1	－	
地域居宅障がい者 及び一般住民	17	4	－	－	－	4	
計	67	26	10	4	8	4	

c. 関係団体、関係機関との連携強化

東海村障がい者総合支援協議会、茨城県共同受発注センター、ハローワーク、提携医療機関地域民間企業などと連携を図ってきました。また、東海村役場や東海村社会福祉協議会等関係機関の障害福祉や地域福祉に係る各種委員会などにも参画してきました。

d. 各企業・団体等からの寄付・贈答等

(敬称 略)

No.	企業名	寄付・贈答品	備 考
1	(株)こうじや	じゃがいも種20kg、植物、野菜用肥料・培養土、作業ケース	作業所農園で使用
2	設計事務所スケール	壁掛け時計	グループホーム
3	(株)三共建設	壁掛け時計	
4	地域住民、関係団体	施設開所記念花木	

e. 情報発信システム(SNS)の構築

① ホームページのリニューアル

情報発信の1つとして、ホームページを専門業者に依頼しリニューアルしました。活動の様子や商品の紹介、にじいろカフェのメニューなどの掲載を随時更新していきます。

② インスタグラムの活用

作業所及びにじいろカフェのインスタグラムを開設し活動の様子やメニューの紹介など身近なツールを活用しPRしています。更新内容は利用者と職員で考え毎週金曜日に掲載しています。